

# 2010 春日井市民第九演奏会



## 2010.12.5 (日)

午後3時開演 [2時開場]  
春日井市民会館 全席自由 1000円



指揮  
ロレンツ・クリストフ・アイヒナー



ソプラノ  
チョ・ヒョネ



アルト  
大田亮子



テノール  
イー・ウォン・ヨン



バス  
キム・ミン・スク

曲 目 ■ ベートーヴェン  
交響曲第9番 二短調 作品125「合唱付」  
管 弦 楽 ■ 春日井市交響楽団  
合 唱 ■ 春日井市民第九合唱団  
合唱指導 ■ 滝沢 博

チケットお取扱い場所 [10/7(木)より発売]

- 文化フォーラム春日井 (2F文化情報プラザ)
- 東部市民センター
- 春日井市役所 (2F情報コーナー)
- ふれあいセンター (味美・高蔵寺・南部・西部)
- 坂下公民館

主催：春日井市・春日井市教育委員会・(財)かすがい市民文化財団・春日井市民第九演奏会実行委員会  
共催：春日井市交響楽団・春日井市民第九合唱団  
後援：中部大学・中日新聞社

お問い合わせ：春日井市民第九演奏会実行委員会 TEL0568-51-1111 春日井市文化スポーツ部文化課 TEL0568-85-6079

指揮 **ロレンツ・クリストフ・アイヒナー** Lorenz C. Aichner

1977年、モーツァルトと同じくザウルブルクで生まれました。6歳のときに同地のモーツァルトウム（モーツァルト音楽院）でピアノを習い始め、10歳のとき、「若き音楽コンクール」で優勝。その後、ウィーン「音楽演劇大学」(Musik und darstellende Kunst) に学び、指揮法をレオポルド・ハーガーに師事しました。在学中に、ニコライの「ウィンザーの陽気な女房たち」(ウィーンのエーデンブルン宮殿) やメノッティの「電話」(韓国) など、各地のオペラ劇場で指揮をしました。2004年のシーズンから、エルフト市(ドイツのチューリンゲン州の首都)の音楽監督を務め、豊かな情感と格調高い演奏で人気を博しました。

2008年から、ドイツのホフ(バーヴアリア地方の北東でチェコの国境に接している古い都市)のホフ歌劇劇場の楽長で首席指揮者(Kapellmeister und stellvertretender Musikdirektor)に就任しました。これまでに「魔笛」や「ドン・ジョヴァンニ」やベルトルクの「青髭公の城」などたくさんの名作オペラを指揮しています。今年(2010年)のシーズンにR.バウムガルトナーの「ホフマンの世界」の世界初演を行ないます。初来日ですが、彼のホームページに書かれているように、「春日井市民第九演奏会」も今年の彼の主要な「レパートリー」(主要演奏曲目)に入っていて、今回の春日井公演を楽しみにしています。

ソプラノ **チョ・ヒョネ** Cho Hyu Ae

韓国ヨンセ大学を優秀な成績で卒業。イタリアのミラノ・ヴェルディ・コンセルヴァトアールを満場一致の好成績で卒業。たくさんのディプロマを取得。ジャコモ・アラガルのマスタークラスを修了。ブッセート国際コンクールで優勝。リッカルド・ザンドナイ国際コンクールで準優勝。大阪では知事賞を、プレーシャではブッチニ賞を受賞して、多くのコンクールで

常に最高位での入賞を果たしています。レパートリーは、モーツァルトからヴェルディやプッチーニまで幅広く、特に蝶々夫人を得意としています。ブッチーニ・フェスティバルなど、海外のオペラ公演に数多く出演しています。韓国でオーディションを受けて「春日井第九」のため来日。

アルト **大田 亮子** Ohta Akiko

名古屋音楽大学音楽学部声楽学科卒業 同大学院音楽研究科声楽専攻修了共に首席修了。在学中より、定期演奏会・卒業演奏会・第24・26回中部読売新人演奏会・第72回読売新人演奏会・ヘンデル「メサイヤ」メンデルスゾーン「エリア」・ベートーヴェン「第九」をはじめ、数多くの演奏会に出演。第56回全日本学生音楽コンクール声楽部門大学・一般の部名古屋大会にて第一位。及び全国大会出場。大学院修了後、イタリア ミラノに留学し、国際声楽アカデミー「A・マントヴァーニ」に於いて、K・ローヴァ女史の下、発声法を学びながら、イタリア・ミラノを中心に演奏活動を行う。

ミラノでは、クザーニ宮殿でのコンサートに毎月レギュラー出演する他、シチリアにてブーマ氏らとコンサートツアーを行う。第40回イタリア声楽コンクール シエナ部門入選。第150回日演連推薦新人演奏会に出演し、名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。現在は、イタリアと日本を往復しながら演奏活動中。水谷俊二、長野真理子、M. レアーレ、K. ロローヴァの各氏に師事。

テノール **イー・ウォン・ヨン** Lee won yon

韓国の圓光大学校を卒業。イタリアのペスカレーゼ音楽院(Pescara)で学びました。その間、名教師で知られるブルーノ・バリオーニ、カタルディ・タツツォーニ、ヴィンツェンツォ・サンソなどに師事しました。アルカモ国際コンクールやオッタヴィアーノ・ツッチーノ国際コンクールやアネモス国際コンクールで優勝。レパートリーは多く、ほとんどのテノールの主役を歌っています。《魔笛》のタミーノ、《コシ・ファン・トゥッ

テ》のフェランド、《ボエーム》のロドルフォ、《ランメルモールのルチア》のエドガルドなど、甘い声で数多くの名作アリアを歌い、韓国を代表するテノール歌手として高い人気をえています。アメリカやイタリアの歌劇場に招待されて、活躍の場を増やしています。韓国でオーディションを受けて「春日井第九」のため来日。

バス **キム・ミン・スク** Kim Min Suk

韓国のソングシル大学の数学科卒業。ソウル大学と同大学院を修了。イタリアのジェノヴァのロイヤルアカデミーでディプロマを取得しました。ミラノでロベルト・ネグリなど著名なマエストロに師事。韓国へ帰国して第一線のオペラ歌手として、数々のバスの持ち役を歌っています。レパートリーは、韓国国立オペラで《ボエーム》に出演、デジュン・アーツセンターで《ドン・ジョヴァンニ》のタイトル・ロール(主役のドン・ジョヴ

ァンニ)を歌い、《リゴレット》では個性的なスバラフチーレを歌いました。ソウルのメトロポリタンオペラでは《魔笛》のザラストロ、ゴヤン文化財団では《アイダ》のエジプト王、インチョン国際オペラでは《アンドレア・シェニエ》のルーシェなどで、いま、韓国で人気のオペラ歌手です。韓国でオーディションを受けて「春日井第九」のため来日。

オーケストラ **春日井市交響楽団**

市民オケである春日井市交響楽団は、「第九の演奏会を春日井でも開きたい」という私たち市民の希望から生まれました。市内の音楽愛好家を中心になって、「市民が演奏し、市民が聴く、春日井市民のオーケストラ」が、1990年(平成2年)11月に創立されました。愛称「カポ」(KAPO)は英字名称「KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA」の頭文字をとったもので、イタリア語の「カポ」(capo 頭・先頭に立つ者)の思いもあります。毎年、7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」

を中心に、数多くのオーケストラ活動を行っています。団員は、会社員・公務員・教員・医師・主婦・学生・自営業者などからなる45名。私たちにとって、最大の喜びは、一人でも多くみなさまに演奏会においでいただき、クラシック音楽を好きになっていただくことです。そのために、「春日井で名曲の名演奏を」と心がけています。今年の「第九」も、大いに自信があります。ぜひ、お出かけ下さい。(団長・稲垣 徹)

合唱 **春日井市民第九合唱団**

春日井市民第九合唱団は、春日井市民第九演奏会のために、一般市民により編成された合唱団です。平成5年12月の春日井市制50周年を記念して開催された、ベートーヴェン作曲交響曲第九番の春日井市初演を期に作られ、今年で18回目の演奏会を迎えています。毎年公募による新しい方々を含め、総勢250名にも達する大合唱団です。平均年齢は60歳になろうかと、やや高いのですが、数年前から、中部大学混声合唱団の若い力の応援をいただき、元気に第九を歌っております。

7月に市長の出席を仰いで結団式を行い、毎週土曜日、今年から、新しく滝沢博先生を指導者に迎え、気持ちも新たに練習に励んでおります。慣れないドイツ語の発音にも苦勞しておりますが、ベートーヴェンの第九のテーマである、「人間はみな兄弟である」という歡びを我々自身も感じながら、演奏会においでくださる皆様方に、すこしでもその精神を感じ取っていただこうと精一杯歌います。どうぞよろしく願い申し上げます。(団長・須藤章夫)

〈市民の喜びと感動を歌う「春日井市民第九演奏会」へおいで下さい〉

「歡喜は神々の火花である」と私たちは、毎年、この「春日井市民第九演奏会」で歌ってきました。私たちの心をつなぐのは、多くの仲間と共に「喜び」の火花を感じたときです。さあ、そしていよいよ、春日井市民の最大の歡喜の源泉である恒例の「春日井市民第九演奏会」が始まります。今年もまた、国際色溢れるステージとなります。200名を越す合唱団と一緒に、春日井市民のみなさまに、一年分の喜びと感動をまとめてお贈りする「春日井市民第九演奏会」です。市民のための、市民による、市民の「第九」に、ご家族おそろいでお出かけ下さい。お待ちしております。 音楽監督・都築正道

※都合により出演者の変更がある場合があります。  
※就学前のお子様のお断り申し上げます。